

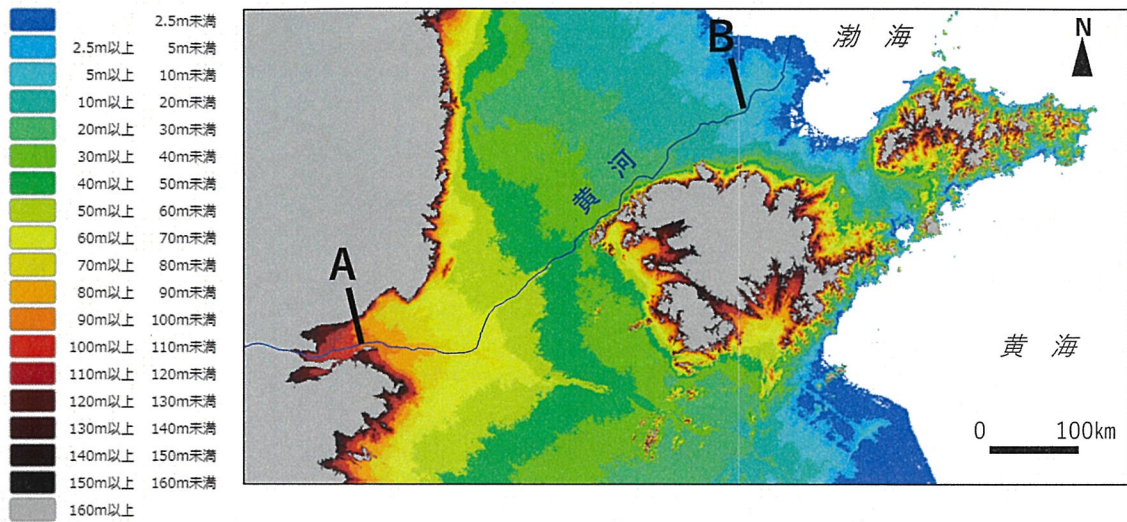


図 B 2

(地理院地図より作成)

表 B 2

	長江	黄河
年平均流出水量 (× 10 億 m ³)	1000	56
年平均流下土砂量 (× 10 億 t)	0.5	1.6
年平均流出水量 (× 10 億 m ³) / 年平均流下土砂量 (× 10 億 t)	2000	35

(林秉南・李桂芬 (1985) 長江と黄河. 土木学会論文集, 363 II-4, pp1-11.より作成)

(2) 図 B 2 は黄河の下流平野を標高別に着色した地図である。黄河の A－B 区間とその周辺の地形に着目し，黄河の下流域の地形の発達の条件と発達の過程について，表 B 2 をふまえながら説明しなさい。

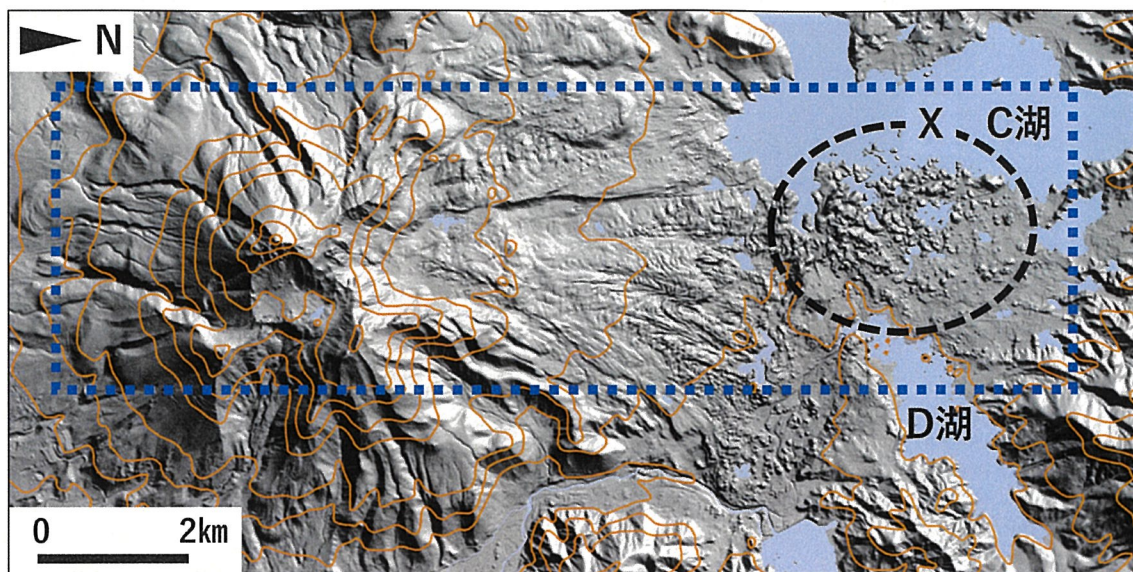


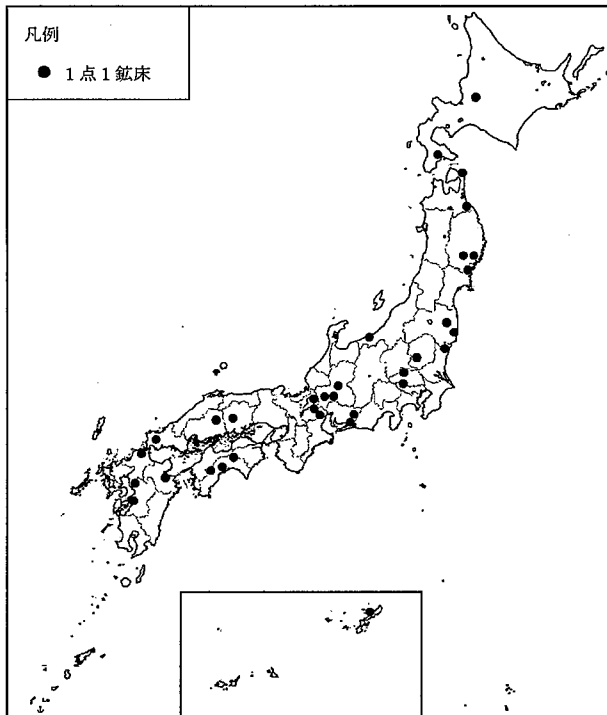
図 B 3

注) 等高線は100m間隔である。

(地理院地図Vectorより作成)

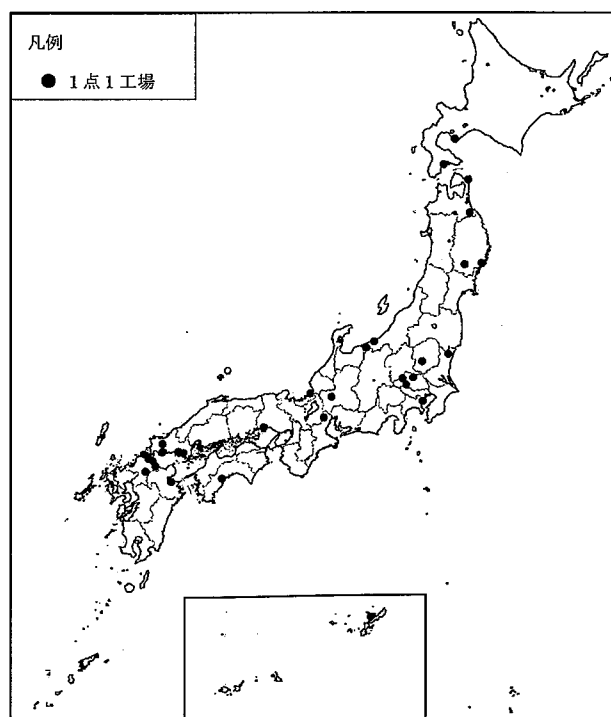
- (3) 図 B 3 の C 湖と D 湖の間には地形群 X がみられる。青色の枠内の地形を描きなさい。また、地形群 X の成因について、解答欄に描いた図中に説明を加えなさい。

D スズネさんは「日本におけるセメント工業について」という発表をするため、図D 1～D 5を作成しました。これに関して、あとの（１）～（３）の問いに答えなさい。



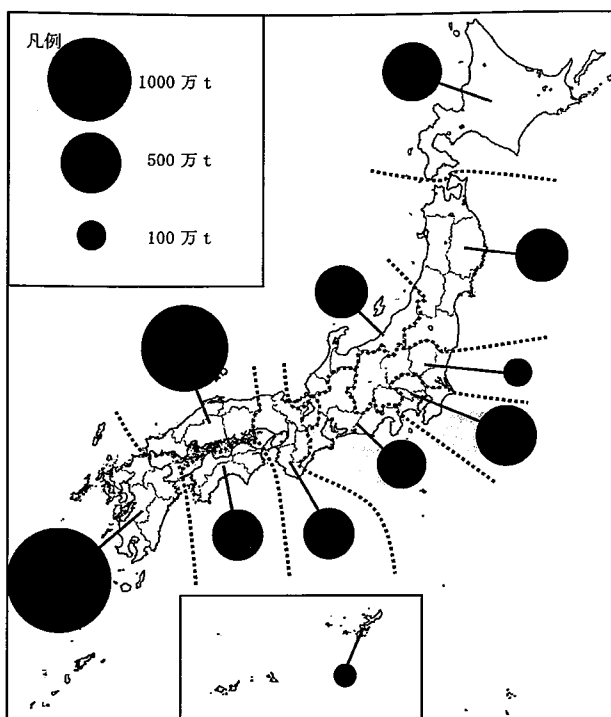
図D 1 石灰石鉱床の分布

（石灰石鉱業協会ウェブサイトより作成）



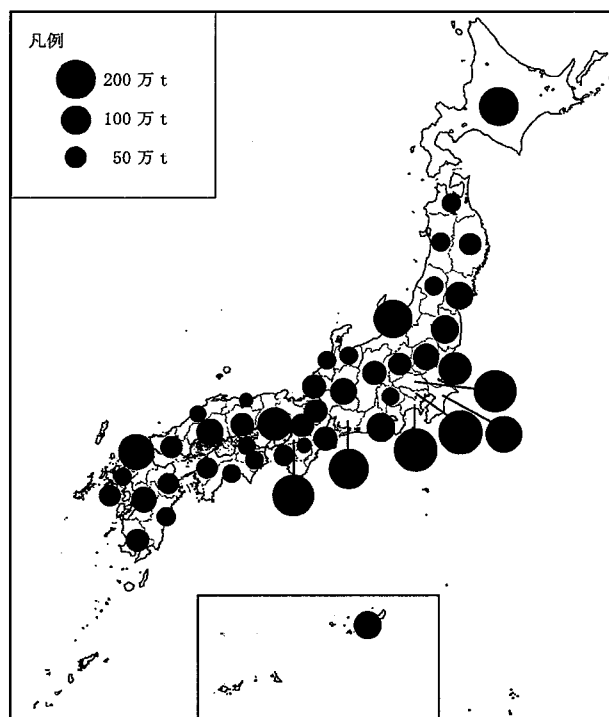
図D 2 セメント工場の立地

（セメントハンドブック（2021）より作成）



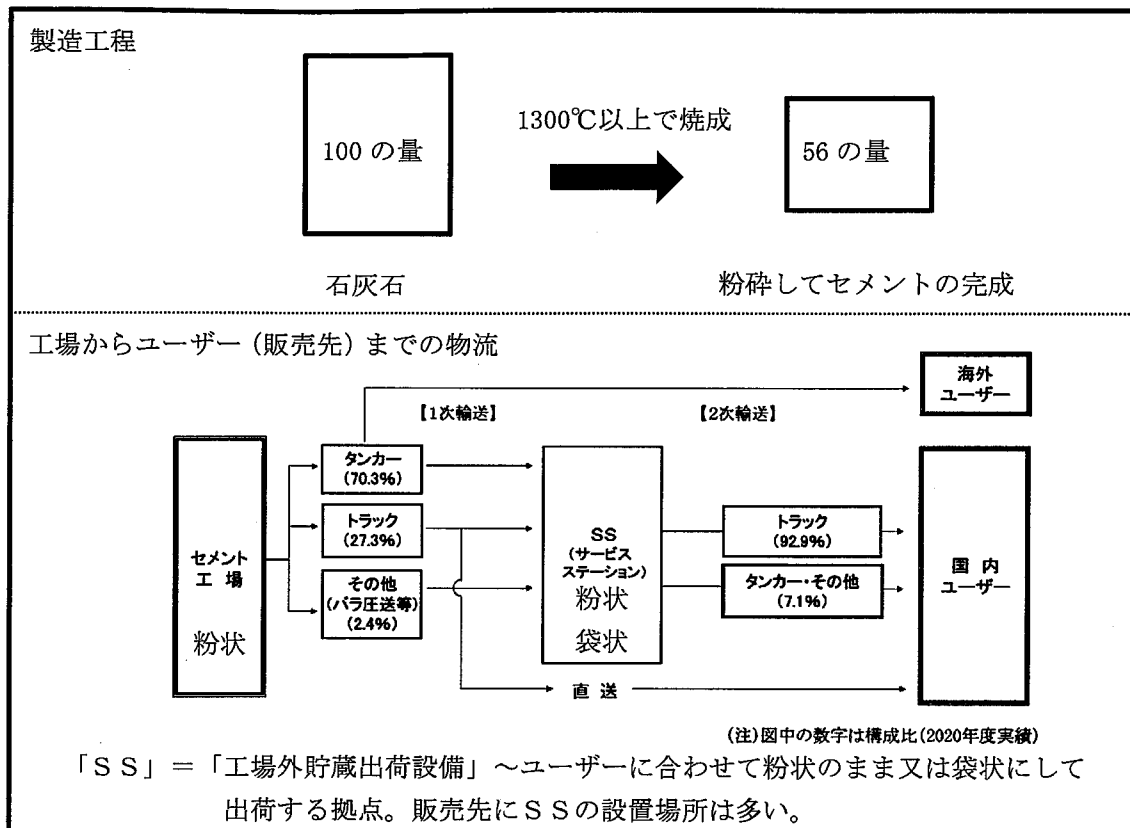
図D3 セメントの生産量

(セメントハンドブック (2021) より作成)



図D4 セメントの販売量

(セメントハンドブック (2021) より作成)



図D5 セメントの製造過程とその物流

(コンクリートメディカルセンターウェブサイトより作成)
セメントハンドブック (2021) より作成)

- (1) 図D1・図D2から「セメント工場がどのような場所に多いのか」という視点で読み取れることを発表します。日本全体における傾向と都道府県内の傾向について、読み取れる内容を述べなさい。
- (2) 図D3・図D4から「セメントの生産量が多い地区と販売量が多い都道府県」という視点で読み取れることを発表します。読み取れる内容を説明しなさい。
- (3) 図D5から「セメントの製造過程の特徴と重量、物流の特徴について」という視点で読み取れることを発表します。読み取れる内容を説明しなさい。